

令和7年度

年間授業計画

第一学年



東京都立大島高等学校

〒100-0101
東京都大島町元町字八重の水127

TEL:04992 (2) 1431

FAX:04992 (2) 2461

高等学校 令和7年度（1学年用）教科 国語 科目 言語文化

の目標は、

[illegible][illegible]

高等学校 令和7年度（1学年用）教科		地理歴史	科目	地理総合
教科：地理歴史	科目：地理総合	単位数：2	単位	
対象学年組：第1学年 1組～3組				
教科担当者：（1組：藤田）（2組：藤田）（3組：藤田）（組：）（組：）（組：）				
使用教科書：（第一学習社 高等学校地理総合 世界を学び、地域をつくる 帝国書院 標準高等地区）				
教科 地理歴史	の 目標：			

【思考力、判断力、表現力等】地理や歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 地理歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土や歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さに至るの自覚などを深める。

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
地理に関する諸事象に関して、世界の生活文化の多様性、や、防災、地域や地球環境への取組などを理解するとともに、地域や地球環境システムなどを活用し、課題や資源利かち地理に関する様々な情報を通適切な効果的に調べよとめる地理に身に付ける力。	地理に関する事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係を、空間的相互依存作用、地理的な点に着目して、多面的、多角的に考察し、地理的な課題の解決に向けて構想したりする力を養う。地理的に説明したり、それらを言語に構築したりする力を養う。	地理に関する諸事象について、よりよい社会の実現を視野にこそとてそれら理解の課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養ふとともに、多面的、多角的な事象や空間理解を通して諸事象を品よく見出し、自己、我が国の国土上に対する、使命感、責任感、地域愛を育む力を養う。以上との大切さについての自覚をたもてる。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	意	配当 時数
1学期	A単元「地球上の世界と地図」 緯度・経度の役割、地軸の傾きによる季節変化と時差の存在、地球上の情報を読み解く有用性、GNSSやGISなどについて理解させる。	・指導事項 ・地球上の位置 ・世界の時差 ・世界地図の見方・使い方 ・地図から読み取る情報 ・デジタル化された地図 ・地理情報システムの活用 ・教材 教科書、資料集、ICT端末 一人1台端末の活用	【知識・技能】 ・緯度の計算、地図の図法の特徴と欠点、GNSS・GISのしくみと社会での活用例を理解している。 【思考・判断・表現】 ・距離を平面に考慮する際の特性と問題点を、ハザードマップを作成できるような情報を必要かを考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・さまざまなWeb地図にアクセスし、地理情報システムなどに関心をもつことができる。				14
	定期考査						1
	B単元「国家の結びつきとグローバル化する社会」 交通機関や物流の発達による、生活、社会、産業、国際間の関係の変化や、日本の領土と近隣国との領土問題について理解させる。	・指導事項 ・国家の領域と国境 ・日本の領域とさまざまな領土問題 ・交通機関の発達と縮小する世界 ・拡大する世界の貿易と物流 ・グローバル化と人の移動による結びつき ・教材 教科書、資料集、ICT端末 一人1台端末の活用	【知識・技能】 ・交通・情報・通信のそれぞれの役割や長所・短所や、世界の形勢や課題を、認識しと身に付けている。 【思考・判断・表現】 ・国際間の物理的・国際界貫、国家間の結合などが活発化・複雑化していることや、日本が抱える領土問題の解決に向けて、政府や個人として必要なことを考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・世界で起きている紛争や領土問題について調べ、現状と課題をまとめることができる。				10
	定期考査						1
2学期	C単元「持続可能な社会を目指して」 SDGsの9つの枠組みを活用し、「持続可能な開発目標（SDGs）」の理念や具体的な内容への理解を深めさせ、「持続可能な社会」の実現に向けて、私たち一人ひとりができることを考察させる。	・指導事項 ・持続可能な開発目標（SDGs） ・地球の課題の地理的な側面 ・教材 教科書、資料集、ICT端末 一人1台端末の活用	【知識・技能】 ・SDGsの17の目標について理解し、持続可能な社会を築いていく狙いを知り、地球観を学ぶ意義を気づける。 【思考・判断・表現】 ・持続可能な開発目標（SDGs）の達成に向けては、個人の能力だけでなく、国家や地方自治体、企業などにも求められる協働であることを考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・持続可能な開発目標（SDGs）に向けた国際社会の取組や日本企業の取組などに関心を持って調べるができる。				2
	D単元「すべての人々の尊厳と平等が守られた社会に向けて」 現在、直面している地球的課題に着目し、具体的な事例を通して、すべての人々の尊厳と平等が守られた社会の実現を目指すための各国の取り組みや国際協力などについて理解させる。	・指導事項 ・貧困問題 ・人口問題 ・持続可能な生活の利用 ・健康・福祉問題 ・教育・ジェンダー問題 ・教材 教科書、資料集、ICT端末 一人1台端末の活用	【知識・技能】 ・資料をもとに、人々の尊厳と平等に関わる諸課題の背景とその背景について理解を深めることができる。 【思考・判断・表現】 ・各課題の解決の方向性について考察し、他者に説明したり、構想したりすることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・地球的課題に関して、課題を追究したり解決したりする活動を通じ、課題解決へ向けた持続可能な社会の実現を目指した各国の取り組みや国際協力などについて考察したり構想したりして、他者に説明したり議論したりする主体的な態度が見られる。				7
	定期考査						1
	E単元「自然と調和した豊かな社会に向けて」 現在、直面している地球的課題に着目し、具体的な事例を通して、自然と調和した豊かな社会の実現を目指すための各国の取り組みや国際協力などについて理解させる。	・指導事項 ・限りの資源 ・エネルギー ・都市・居住問題 ・教材 教科書、資料集、ICT端末 一人1台端末の活用	【知識・技能】 ・資料をもとに、資源を巡る問題の背景とその背景、エネルギー産業や各地域の方針の相違、都市・居住環境の背景とその背景について理解を深めることができる。 【思考・判断・表現】 ・都市・環境・表現 ・持続可能な社会の実現、再生可能エネルギーの活用やエネルギー効率向上、持続可能な都市（サステナブルシティ）の実現のために求められていることについて考察し、他者に説明したり、構想したりすることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・地球的課題に関して、課題を追究したり解決したりする活動を通じ、課題解決へ向けた持続可能な社会の実現を目指した各国の取り組みや国際協力などについて考察したり構想したりして、他者に説明したり議論したりする主体的な態度が見られる。				10
3学期	F単元「平和で公正な社会に向けて」 現在、直面している地球的課題に着目し、具体的な事例を通して、平和で公正な社会の実現を目指すための各国の取り組みや国際協力などについて理解させる。	・指導事項 ・世界のさまざまな紛争 ・さまざまな立場の解決に向けて ・国際協力和パートナーシップ ・教材 教科書、資料集、ICT端末 一人1台端末の活用	【知識・技能】 ・資料をもとに、世界で起きている様々な戦争とその背景、国内戦争や国際紛争解決のために行われている取り組みやその背景について理解を深めることができる。 【思考・判断・表現】 ・世界で起きている紛争と私たちの生活との関わり、平和な世界の実現のために求められていることを考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・地球的課題に関して、課題を追究したり解決したりする活動を通じ、課題解決へ向けた持続可能な社会の実現を目指した各国の取り組みや国際協力などについて考察したり構想したりして、他者に説明したり議論したりする主体的な態度が見られる。				5
	定期考査						1
	G単元「自然環境と防災」 人々の生活に大きな影響を与える地震災害・海嘯被害・火山噴火・風水害について、その発生メカニズムやこれまでに受けてきた自然災害の歴史を理解させるとともに、災害に備え、自然環境とともに暮らし私たちの生活について考察させる。	・指導事項 ・地球規模で見える地形の姿と自然災害 ・人々の暮らしを取りまく自然環境 ・変動期の自然と防災 ・産潤地域の自然と防災 ・私たちができる災害への備え ・教材 教科書、資料集、ICT端末 一人1台端末の活用	【知識・技能】 ・地震や火山噴火などの自然災害の発生メカニズムやその特性、設置地域の自然や気象について資料から必要な情報を適切に取り出し、地域のハードウェアから学校周辺地域で起こる災害を把握することができる。 【思考・判断・表現】 ・被害への対応などを踏まえ、地域での災害発生時の避難所や避難経路などをまとめ、他者に説明したり話し合ったりしてよりよい避難方法を見つけていくことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・防災力を高めるために個人・地域・自治体に必要な事項を先進地に学んだら自主的に考え、地域社会に対して提言するような主体的な態度が見られる。				17
	定期考査						1

高等学校 令和7年度（1学年用） 教科 数学

科目 数学Ⅰ

教科： 数学 科目： 数学Ⅰ 単位数： 3 単位

対象学年組： 第 1 学年 1 組～ 3 組

教科担当者： （Aクラス：柴田） （Bクラス：谷地） （Cクラス：西川）

使用教科書： （新課程 新編 数学Ⅰ（数研出版））

使用教材： （新課程 教科書傍用 サクシード 数学Ⅰ＋A（数研出版））

教科 数学 の目標：

【知識及び技能】基本的な概念、原理・法則などを理解し、事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付けさせる。

【思考力、判断力、表現力等】事象を数学的に考察し表現したり、思考の過程を振り返るなど、数学的な見方や考え方を身に付けさせる。

【学びに向かう力、人間性等】数学的な考え方に関心をもつとともに、数学のよさを認識し、それらを事象の考察に活用しようとする。

科目 数学Ⅰ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
数と式、2次関数、データの分析及び図形と計量における基本的な概念、原理・法則などを理解し、知識を身に付けており、事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付けている。	事象を数学的に考察し表現したり、思考の過程を振り返り、多面的・発見的に考えることなどを通して、数と式、2次関数、データの分析及び図形と計量における数学的な見方や考え方を身に付けている。	数と式、2次関数、データの分析及び図形と計量の考え方に関心をもつとともに、数学のよさを認識し、それらを事象の考察に活用しようとする。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	【第1章 数と式】 【知識及び技能】 基本的な概念、原理・法則などを理解し、知識を身に付けており、事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 数学的な見方や考え方を身に付けている。 【学びに向かう力、人間性等】 学習内容の考え方に関心をもつとともに、数学のよさを認識し、それらを事象の考察に活用しようとする。	改訂版 新編 数学Ⅰ（数研出版） 【第1章 数と式】 第1節 式の計算 第2節 実数 第3節 1次不等式	【知識・技能】 基本的な概念、原理・法則などを理解し、知識が身に付いている。 事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 数学的な見方や考え方を身に付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 学習内容の考え方に関心をもつとともに、数学のよさを認識し、それらを事象の考察に活用しようとしている。	○	○	○	17
	定期考查			○	○		1
	【第2章 集合と命題】 【知識及び技能】 基本的な概念、原理・法則などを理解し、知識を身に付けており、事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 数学的な見方や考え方を身に付けている。 【学びに向かう力、人間性等】 学習内容の考え方に関心をもつとともに、数学のよさを認識し、それらを事象の考察に活用しようとする。	改訂版 新編 数学Ⅰ（数研出版） 【第2章 集合と命題】 集合 命題と条件 命題とその逆・対偶・裏 命題と証明 改訂版 新編 数学Ⅰ（数研出版） 【第3章 関数とグラフ】 第1節 2次関数のグラフ	【知識・技能】 基本的な概念、原理・法則などを理解し、知識が身に付いている。 事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 数学的な見方や考え方を身に付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 学習内容の考え方に関心をもつとともに、数学のよさを認識し、それらを事象の考察に活用しようとしている。	○	○	○	10
	定期考查			○	○	○	10
	定期考查			○	○		1
2 学 期	【第3章 関数とグラフ】 【知識及び技能】 基本的な概念、原理・法則などを理解し、知識を身に付けており、事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 数学的な見方や考え方を身に付けている。 【学びに向かう力、人間性等】 学習内容の考え方に関心をもつとともに、数学のよさを認識し、それらを事象の考察に活用しようとする。	改訂版 新編 数学Ⅰ（数研出版） 【第3章 関数とグラフ】 第1節 2次関数のグラフ 第2節 2次関数の値の変化 第3節 2次方程式と2次不等式	【知識・技能】 基本的な概念、原理・法則などを理解し、知識が身に付いている。 事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 数学的な見方や考え方を身に付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 学習内容の考え方に関心をもつとともに、数学のよさを認識し、それらを事象の考察に活用しようとしている。	○	○	○	20
	定期考查			○	○		1
	【第4章 図形と計量】 【知識及び技能】 基本的な概念、原理・法則などを理解し、知識を身に付けており、事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 数学的な見方や考え方を身に付けている。 【学びに向かう力、人間性等】 学習内容の考え方に関心をもつとともに、数学のよさを認識し、それらを事象の考察に活用しようとする。	改訂版 新編 数学Ⅰ（数研出版） 【第4章 図形と計量】 第1節 三角比 第2節 三角形への応用	【知識・技能】 基本的な概念、原理・法則などを理解し、知識が身に付いている。 事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 数学的な見方や考え方を身に付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 学習内容の考え方に関心をもつとともに、数学のよさを認識し、それらを事象の考察に活用しようとしている。	○	○	○	17
	定期考查			○	○		1
3 学 期	【第4章 図形と計量】 【第5章 データの分析】 【知識及び技能】 基本的な概念、原理・法則などを理解し、知識を身に付けており、事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 数学的な見方や考え方を身に付けている。 【学びに向かう力、人間性等】 学習内容の考え方に関心をもつとともに、数学のよさを認識し、それらを事象の考察に活用しようとする。	改訂版 新編 数学Ⅰ（数研出版） 【第4章 図形と計量】 第2節 三角形への応用 改訂版 新編 数学Ⅰ（数研出版） 【第5章 データの分析】 データの整理 データの代表値 データの散らばりと四分位数 分散と標準偏差 データの相関	【知識・技能】 基本的な概念、原理・法則などを理解し、知識が身に付いている。 事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 数学的な見方や考え方を身に付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 学習内容の考え方に関心をもつとともに、数学のよさを認識し、それらを事象の考察に活用しようとしている。	○	○	○	11
	定期考查			○	○	○	15
	定期考查			○	○		1
							合計 105

高等学校 令和7年度（1学年用） 教科 数学 科目 数学A

教科： 数学 科目： 数学A 単位数： 2 単位

対象学年組： 第 1 学年 2 組～ 3 組

教科担当者： (Aクラス：西川) (Bクラス：柴田)

使用教科書： (新課程 新編 数学A (数研出版))

使用教材： (新課程 教科書傍用 サクシード 数学 I + A (数研出版))

教科 数学 の目標：

【知識及び技能】基本的な概念、原理・法則などを理解し、事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付けさせる。

【思考力、判断力、表現力等】事象を数学的に考察し表現したり、思考の過程を振り返るなど、数学的な見方や考え方を身に付けさせる。

【学びに向かう力、人間性等】数学的な考え方に興味をもつとともに、数学のよさを認識し、それらを事象の考察に活用しようとする。

科目 数学A の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
場合の数と確率、図形の性質および数学と人間の活動における基本的な概念、原理・法則などを理解し、知識を身に付けており、事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付けている。	事象を数学的に考察し表現したり、思考の過程を振り返り、多面的・発展的に考えることなどを通して、場合の数と確率、図形の性質および数学と人間の活動における数学的な見方や考え方を身に付けている。	場合の数と確率、図形の性質および数学と人間の活動の考え方に興味をもつとともに、数学のよさを認識し、それらを事象の考察に活用しようとする。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	【第1章 場合の数と確率】 【知識及び技能】 基本的な概念、原理・法則などを理解し、知識を身に付けており、事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 数学的な見方や考え方を身に付けている。 【学びに向かう力、人間性等】 学習内容の考え方に興味をもつとともに、数学のよさを認識し、それらを事象の考察に活用しようとする。	新編 数学A (数研出版) 【第1章 場合の数と確率】 準備 集合 第1節 場合の数	【知識・技能】 基本的な概念、原理・法則などを理解し、知識が身に付いている。 事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 数学的な見方や考え方を身に付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 学習内容の考え方に興味をもつとともに、数学のよさを認識し、それらを事象の考察に活用しようとしている。	○	○	○	11
	定期考査			○	○		1
	【第1章 場合の数と確率】 【知識及び技能】 基本的な概念、原理・法則などを理解し、知識を身に付けており、事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 数学的な見方や考え方を身に付けている。 【学びに向かう力、人間性等】 学習内容の考え方に興味をもつとともに、数学のよさを認識し、それらを事象の考察に活用しようとする。	新編 数学A (数研出版) 【第1章 場合の数と確率】 第1節 場合の数 第2節 確率	【知識・技能】 基本的な概念、原理・法則などを理解し、知識が身に付いている。 事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 数学的な見方や考え方を身に付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 学習内容の考え方に興味をもつとともに、数学のよさを認識し、それらを事象の考察に活用しようとしている。	○	○	○	13
	定期考査			○	○		1
2 学 期	【第1章 場合の数と確率】 【知識及び技能】 基本的な概念、原理・法則などを理解し、知識を身に付けており、事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 数学的な見方や考え方を身に付けている。 【学びに向かう力、人間性等】 学習内容の考え方に興味をもつとともに、数学のよさを認識し、それらを事象の考察に活用しようとする。	新編 数学A (数研出版) 【第1章 場合の数と確率】 第2節 確率	【知識・技能】 基本的な概念、原理・法則などを理解し、知識が身に付いている。 事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 数学的な見方や考え方を身に付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 学習内容の考え方に興味をもつとともに、数学のよさを認識し、それらを事象の考察に活用しようとしている。	○	○	○	12
	定期考査			○	○		1
	【第2章 図形の性質】 【知識及び技能】 基本的な概念、原理・法則などを理解し、知識を身に付けており、事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 数学的な見方や考え方を身に付けている。 【学びに向かう力、人間性等】 学習内容の考え方に興味をもつとともに、数学のよさを認識し、それらを事象の考察に活用しようとする。	新編 数学A (数研出版) 【第2章 図形の性質】 第1節 平面図形 第2節 空間図形	【知識・技能】 基本的な概念、原理・法則などを理解し、知識が身に付いている。 事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 数学的な見方や考え方を身に付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 学習内容の考え方に興味をもつとともに、数学のよさを認識し、それらを事象の考察に活用しようとしている。	○	○	○	12
	定期考査			○	○		1
3 学 期	【第3章 数学と人間の活動】 【知識及び技能】 基本的な概念、原理・法則などを理解し、知識を身に付けており、事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 数学的な見方や考え方を身に付けている。 【学びに向かう力、人間性等】 学習内容の考え方に興味をもつとともに、数学のよさを認識し、それらを事象の考察に活用しようとする。	新編 数学A (数研出版) 【第3章 数学と人間の活動】	【知識・技能】 基本的な概念、原理・法則などを理解し、知識が身に付いている。 事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 数学的な見方や考え方を身に付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 学習内容の考え方に興味をもつとともに、数学のよさを認識し、それらを事象の考察に活用しようとしている。	○	○	○	17
	定期考査			○	○		1
							合計 70

年間授業計画

高等学校 令和7年度（1学年用）教科 理科 科目 科学と人間生活

教科 理科 科目 科学と人間生活 単位数： 2 単位

対象学年組：第 1 学年 1 組～ 3 組

教科担当：（ 1 組：名古屋 （ 2 組：名古屋 ）（ 3 組：名古屋 ）

使用教科書：（ 第一 高等学校 科学と人間生活 ）

教科 理科 の目標：

【知識及び技能】自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】自然の事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

科目 科学と人間生活 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
自然と人間生活との関わり及び科学技術と人間生活との関わりについての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けるようにする。	観察、実験などを行い、人間生活と関連付けて科学的に探究する力を養う。	自然の事物・現象に連んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養うとともに、科学に対する興味・関心を高める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	天体に関する観察、実験などを行い、太陽などの身近に見られる天体の運動や太陽の放射エネルギーについて、人間生活と関連付けて理解すること。	宇宙や地球の科学 太陽と地球	天体に関する観察、実験などを行い、太陽などの身近に見られる天体の運動や太陽の放射エネルギーについて、人間生活と関連付けて主体的に探究していること。探究の結果理解を深め、表現ができること。	○	○	○	6
	自然景観と自然災害に関する観察、実験などを行い、身近な自然景観の成り立ちと自然災害について、人間生活と関連付けて理解すること。	宇宙や地球の科学 自然景観と自然災害	自然景観と自然災害に関する観察、実験などを行い、身近な自然景観の成り立ちと自然災害について、人間生活と関連付けて主体的に探究していること。探究の結果理解を深め、表現ができること。	○	○	○	6
	定期考査			○	○		1
	身近な材料に関する観察、実験などを行い、金属やプラスチックの種類、性質及び用途と資源の再利用について、日常生活と関連付けて理解すること。	物質の科学 材料とその再利用	身近な材料に関する観察、実験などを行い、金属やプラスチックの種類、性質及び用途と資源の再利用について、日常生活と関連付けて主体的に探究していること。探究の結果理解を深め、表現ができること。	○	○	○	6
	衣料と食品に関する観察、実験などを行い、身近な衣料材料の性質や用途、食品中の主な成分の性質について、日常生活と関連付けて理解すること。	物質の科学 衣料と食品	衣料と食品に関する観察、実験などを行い、身近な衣料材料の性質や用途、食品中の主な成分の性質について、日常生活と関連付けて主体的に探究していること。探究の結果理解を深め、表現ができること。	○	○	○	6
	定期考査			○	○		1
2 学 期	ヒトの生命現象に関する観察、実験などを行い、ヒトの生命現象を人間生活と関連付けて理解すること。	生命の科学 ヒトの生命現象	ヒトの生命現象に関する観察、実験などを行い、ヒトの生命現象を人間生活と関連付けて主体的に探究していること。探究の結果理解を深め、表現ができること。	○	○	○	6
	微生物に関する観察、実験などを行い、微生物の働きを人間生活と関連付けて理解すること。	生命の科学 微生物とその利用	微生物に関する観察、実験などを行い、微生物の働きを人間生活と関連付けて主体的に探究していること。探究の結果理解を深め、表現ができること。	○	○	○	6
	定期考査			○	○		1
	光に関する観察、実験などを行い、光を中心とした電磁波の性質とその利用について、日常生活と関連付けて理解すること。	光や熱の科学 光の性質とその利用	光に関する観察、実験などを行い、光を中心とした電磁波の性質とその利用について、日常生活と関連付けて主体的に探究していること。探究の結果理解を深め、表現ができること。	○	○	○	6
	熱に関する観察、実験などを行い、熱の性質、エネルギーの変換と保存及び有効利用について、日常生活と関連付けて理解すること。	光や熱の科学 熱の性質とその利用	熱に関する観察、実験などを行い、熱の性質、エネルギーの変換と保存及び有効利用について、日常生活と関連付けて主体的に探究していること。探究の結果理解を深め、表現ができること。	○	○	○	6
	定期考査			○	○		1
3 学 期	生活していく上で生じた疑問を科学的に考察し表現を行う。	生活する上で生じた疑問の探究	生活していく上で生じた疑問を主体的に探究していること。探究の結果理解を深め、表現ができること。	○	○	○	18
							合計 70

高等学校 令和7年度（1学年用） 教科 保健体育 科目 体育

教 科： 保健体育 科 目： 体育 単位数： 3 単位

対象学年組：第 1 学年 1 組～ 3 組

教科担当者：（中谷 橋本 首藤）

使用教科書：（現代高等保健体育 ）

教科 保健体育 の目標：

【知識及び技能】 各種の運動の特性に応じた技能など及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し、判断するとともに、他者に伝える力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

科目 体育 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性及び体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身につけている。	生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに自己や仲間の考えたことを他者に伝えていく。	生涯にわたって継続して運動に親しむために、運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするとともに健康・安全を確保している。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	オリエンテーション 体育理論 身体能力の向上について、その理論や具体的な方法について理解し、計画的に実践することができる。	体育授業に臨む心構えと授業ルール、授業の進め方、取り組み姿勢について 運動やスポーツの効果的な学習の仕方、実生活への位置づけ	スポーツテストなどを通じて、筋力・持久力・柔軟性・敏捷性などの能力がどう向上していくのか、合理的・計画的な実践力と互いに協力し、安全に取り組むことができる。	○	○	○	9
	陸上競技(短距離走) 体の使い方や記録向上のための計画的な取り組みや走法について理解する。 体づくり運動 巧緻性を育みながら、種々の体育種目と運動し生かすことができる。	1 0 0 m走 2 0 0 m走 4 0 0 m走 コーディネーショントレーニング	各距離における走り方について理解し、記録向上のために合理的・計画的に取り組むことができる。 体の使い方や身のこなし方について、様々な種目と関連付けて取り組み、なおかつ互いに協力しながら協働できる。	○	○	○	15
	水泳 4泳法の内、2泳法についての泳法の理解と記録向上のための計画的な実践、安全面に配慮し、居方協働ができる。	自由形(クロール) 平泳ぎ	クロール・平泳ぎの泳法について理解し、意欲的に取り組み技能を高めることができる。また記録向上のために計画的に泳ぎこみ、また安全に配慮し互いに協力して泳法や技能向上に取り組むことができる。	○	○	○	15
2 学 期	球技（バレーボール） ネット型の競技を通じての協働、また種目の特性としての個人の技術・技能を高め、試合形式の中での仲間意識の向上を目指す。 ダンス リズムに合わせた全身運動、各ダンスジャンルのリズムや動きを通して身体運動のみならず、文化的側面としてのダンスも学ぶ。	バレーボール	バレーボールにおける個々の技能を高め、また合理的・計画的に考えて技能向上に取り組むことができる。また用具や施設の安全管理、試合形式における役割を責任もって果たし、互いに協力して、運営できる。				13
	器械運動(マット運動) 回転系の種目、倒立系の種目、それらの混合の種目の特性を理解し、表現としての技の組み合わせを到達地点とする。	ダンス	様々なジャンルのダンスや個々の体の動きのみならず表現についても理解し、合理的・計画的に技能向上のために取り組むことができる。また互いに協働し安全に留意して活動することができる。				13
		器械運動(マット運動)	前転や後転といった回転系の技に開脚や伸膝といった要素を取り入れるとともに倒立系の動きを混ぜ各技の完成度を高めるとともに安全面への配慮に細心の注意を払い仲間と協働して計画的に取り組むことができる。				13
3 学 期	陸上競技(長距離走) 男子1 0 km、女子8 kmを到達地点として、各距離に応じた走り方や心肺能力の向上について理解し、計画的に記録向上させることができる。	陸上競技(長距離走)	各距離における走法の理解、到達距離に向けた計画的な取り組みができ、互いに協力することができる。				27
							合計 105

高等学校 令和 7 年度（1 学年用）教科 保健体育 科目 保健

教科担当者：（橋本）

)

【知識及び技能】個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身につけるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】健康についての自他の社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し、判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力のある生活を営む態度を養う。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めているとともに、技能を身につけている。	健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断しているとともに、目的や状況に応じて他者に伝えている。	生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力のある生活を営むための学習に主体的に取り組もうとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	現代社会と健康 ・健康の捉え方	私たちの健康の姿 健康の捉え方 健康と意思決定・行動選択 健康に関する環境づくり	健康について正しくとらえること、理想の健康 についての課題を考えること、健康とは何かの 問いに対し、自分なりの答えを考えること。健 康な生活への課題と改善に主体的に取り組もう としている。	○	○	○	4
	現代社会と健康 ・生活習慣病などの予防と回復 ・喫煙、飲酒、薬物乱用と健康	生活習慣病と予防 食事と健康 運動と健康 休養・睡眠と健康 喫煙と健康 飲酒と健康 薬物乱用と健康	生活習慣病の原因について毎日の食事・運動・ 休養との関係性について正しく理解し、将来の 生活への課題を主体的に見つけること、また飲 酒や喫煙といった嗜好や習慣と健康への影響に ついて考え、薬物乱用防止の知識を深めようと している。	○	○	○	9
	定期考査			○	○		
2 学 期	現代社会と健康 ・現代の感染症と予防	現代の感染症 感染症の予防 性感染症・エイズとその予防	新興感染症や再興感染症、また現代における感 染症についての知識を深め、感染症の予防や課 題について考え、あわせて、性感染症との関連 についても主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	6
	現代社会と健康 ・精神疾患の予防と回復	欲求と適応規制 心身相関とストレス ストレスへの対処 心の健康と自己実現	心の安定と欲求、欲求不満との関係について、 心身相関の観点からも理解を深めることがで き、なおかつ自らの課題を考えることができ る。ストレスへの対処や現代における課題につ いて主体性をもって解決するために取り組もう としている。	○	○	○	7
	定期考査			○	○		
3 学 期	現代社会と健康 ・安全な社会づくり	交通事故の現状と原因 交通社会における運転者の資質と責 任 安全な交通社会づくり	交通事故の原因について理解し、安全運転の必 要性と高校生時期における交通マナーの問題点 について自ら考え課題を見つけることができ る。安全な交通社会について主体的に考え課題 解決に取り組もうとしている。	○	○	○	4
	現代社会と健康 ・応急手当	応急手当の意義とその基本 心肺蘇生法 日常的な応急手当	傷病者に対しての応急処置(R I C E処置)につ いて理解し、また心肺蘇生法について知識だけ でなく実践力も身につけている。また季節や状 況に応じて傷病等発生の予測について考えるこ とができ、主体的に課題解決に取り組もうとし ている。	○	○	○	5
	定期考査			○	○		
							合計
							35

高等学校 令和7年度（1学年用）教科 外国語				科目 英語コミュニケーションI
教科 外国語	科目 英語コミュニケーションI	単位数 3	単位	
対象学年組 第 1 学年 1 組～ 3 組				
教科担当者 (Aクラス：大橋) (Bクラス：安野) (Cクラス：川口) (Dクラス：村田)				
使用教科書：(数研出版 BIG DIPPER)				

教科 外国語	目標
【知識及び技能】	新出単語や熟語を、使用される状況下に応じた適切な訳で読み取り、またそれを用いて表現できる。様々な国の人の発話やスベールが混在する本文を適切に聞き取ったり、読み取ったりすることができる。
【思考力、判断力、表現力等】	広告・評論文・データ情報や物語などを読んで適切な情報を読み取り、整理・要約することができる。またそれに対して自分の意見や感情を表現することができる。
【学びに向かう力、人間性等】	多様な文化の在り方を理解して多様性を受け入れ、真摯に相手の伝えようとする姿勢に向き合い、対話・意見論述等に積極的に参加することができる。

科目	英語コミュニケーションⅠ	目標	
	【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
新出単語や熟語を、使用される状況下に応じた適切な訳で読み取り、またそれを用いて表現できる。様々な国の人の発話やスベールが混在する本文を適切に聞き取ったり、読み取ったりすることができる。また、自分のことと意見などを簡単な表現で伝えることができる。	広告・評論文・データ情報や物語などを讀んで内容を把握し、中心に即して整理・要約することができる。またそれに対して自分の意見や感情を表現することができる。	多様な文化の在り方を理解して多様性を受け入れ、真摯に相手の伝えようとする姿勢に向き合い、対話・意見論述等に積極的に参加することになれる。	

単元の具体的な指導目標		指導項目・内容	領域				評価規準	知	思	記	出席数
			聞	読	書	書					
1学期	【知識及び技能】 中学で習った単語、文法を用いて正しく自己表現できる。 【思考力、判断力、表現力等】 画面に応じて適切に自己表現できる。 【学びに向かう力、人間性等】 自身について積極的に自己表現する。	・指導事項 基本例文 中・英文事項 ・教材 読解読解～のステップ 一人1台端末	○	○	○	○	【知識及び技能】 中学の英語・文法事項を理解し、正しく用いることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 中学の英語・文法事項を理解し、正しく用いて、適切に自己表現できる。 【学びに向かう力、人間性等】 積極的に発話したり、発問に対して発言しようとする。	○	○	○	6
	Lesson1 【知識及び技能】 朝食の食文化とその影響について理解し、自分の考えを表現する。 【思考力、判断力、表現力等】 情報ごとに朝食の割合を分析したり、フランスの食文化の在り方を考える。 【学びに向かう力、人間性等】 自身の朝食事情について積極的に表現する。	・指導事項 skimming/scanning comprehension check topic talk ・教材 教科書Big Dipper 一人1台端末	○	○	○	○	【知識及び技能】 朝食の食文化とその影響について情報を整理し、要約できる。 【思考力、判断力、表現力等】 求められる情報を適切に抽出して回答でき、またそれに対する自身の意見を表現できる。 【学びに向かう力、人間性等】 【学びに向かう力、人間性等】 積極的に発話したり、発問に対して発言しようとする。ゆるキャラの食文化について、意見を述べることができる。	○	○	○	6
	Lesson2 【知識及び技能】 地域のゆるキャラが成功する秘訣やその宣伝効果について読み取り、自分の考えを表現する。 【思考力、判断力、表現力等】 人物2人の会話に注意しながら発話をしたものの感情整理をする。 【学びに向かう力、人間性等】 ゆるキャラについてその実態を知る。	・指導事項 skimming/scanning comprehension check topic talk ・教材 教科書Big Dipper 一人1台端末	○	○	○	○	【知識及び技能】 ゆるキャラについての情報を集約し、整理してまとめることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 求められる情報を抽出して回答でき、またそれに対する自身の意見を表現できる。 【学びに向かう力、人間性等】 積極的に発話したり、発問に対して発言しようとする。ゆるキャラに興味を持つことができる。	○	○	○	7
	定期考査		○	○	○	○					1
	Lesson3 【知識及び技能】 「リーダー」とは、という問いに対して、動物と人間の違いを明確にし、まとめる。 【思考力、判断力、表現力等】 動物や人間のリーダーの在り方について情報を整理し、比較・分析を行う。 【学びに向かう力、人間性等】 自身のリーダー性を確認し、あるべきリーダー像を考え、表現する。	・指導事項 skimming/scanning comprehension check topic talk ・教材 教科書Big Dipper 一人1台端末	○	○	○	○	【知識及び技能】 動物と人間のリーダーの在り方を知り、情報を整理し、まとめることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 抽出した情報を比較し、動物と人間のリーダーの在り方を分析し、発話できる。 【学びに向かう力、人間性等】 自身のリーダー性を確認し、あるべきリーダー像について積極的に意見を述べることにできる。	○	○	○	9
	Lesson4 【知識及び技能】 いろいろなスポーツの歴史や魅力を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 スポーツがスポーツかどうかについて、理由を述べて自分の考えを述べる。 【学びに向かう力、人間性等】 最新のスポーツについて意見を述べて自分の考えを伝えよう。	・指導事項 skimming/scanning comprehension check topic talk ・教材 教科書Big Dipper 一人1台端末	○	○	○	○	【知識及び技能】 いろいろなスポーツの歴史や魅力を知り、情報を整理し、まとめることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 求められる情報を抽出して回答でき、またそれに対する自身の意見を表現できる。 【学びに向かう力、人間性等】 最新のスポーツについて積極的に発話したり、発問に対して発言しようとする。	○	○	○	9
定期考査		○	○	○	○					1	
2学期	Lesson5 【知識及び技能】 AIが様々なシステムで使われていること、各専門家の意見を整理する。 【思考力、判断力、表現力等】 AIの出現が人間の生活をどう変えるか、自分の考えを表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 AIによる生活について考え、理由を示して自分の考えを伝えよう。	・指導事項 skimming/scanning comprehension check topic talk ・教材 教科書Big Dipper 一人1台端末	○	○	○	○	【知識及び技能】 AIが様々なシステムで使われていることを知り、情報を整理し、まとめることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 求められる情報を抽出して回答でき、またそれに対する自身の意見を表現できる。 【学びに向かう力、人間性等】 AIによる生活について積極的に発話したり、発問に対して発言しようとする。	○	○	○	9
	Lesson6 【知識及び技能】 日本と世界の幸福度、ドミニカ人の幸福度の成り立ちについて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 幸せを感じる基準や幸福のための具体的な方法を表現できる。 【学びに向かう力、人間性等】 幸せを感じる方法について考え、理由を示して自分の考えを伝えよう。	・指導事項 skimming/scanning comprehension check topic talk ・教材 教科書Big Dipper 一人1台端末	○	○	○	○	【知識及び技能】 日本と世界の幸福度、ドミニカ人の幸福度の成り立ちについて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 求められる情報を抽出して回答でき、またそれに対する自身の意見を表現できる。 【学びに向かう力、人間性等】 幸せを感じる方法について積極的に発話したり、発問に対して発言しようとする。	○	○	○	10
	定期考査		○	○	○	○					1
	Lesson7 【知識及び技能】 モルディブが抱える問題、日本の観光地化による問題について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 観光公害の問題と解決を求められる解決法について表現できる。 【学びに向かう力、人間性等】 観光公害の解決法について考え、理由を示して自分の考えを伝えよう。	・指導事項 skimming/scanning comprehension check topic talk ・教材 教科書Big Dipper 一人1台端末	○	○	○	○	【知識及び技能】 モルディブと日本の観光地が抱える問題を知り、情報を整理し、まとめることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 求められる情報を抽出して回答でき、またそれに対する自身の意見を表現できる。 【学びに向かう力、人間性等】 観光公害の解決法について積極的に発話したり、発問に対して発言しようとする。	○	○	○	9
	Lesson8 【知識及び技能】 Kashiraがどのようにして夢を叶えたのかを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 好きな名音とその理由について表現できる。 【学びに向かう力、人間性等】 好きな名音について、理由を示して自分の考えを伝えよう。	・指導事項 skimming/scanning comprehension check topic talk ・教材 教科書Big Dipper 一人1台端末	○	○	○	○	【知識及び技能】 Kashiraがどのようにして夢を叶えたのかを知り、情報を整理し、まとめることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 好きな名音について積極的に発話したり、発問に対して発言しようとする。	○	○	○	9
	定期考査		○	○	○	○					1
3学期	Lesson9 【知識及び技能】 ゴキの再発見の新しい形について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ゴキを減らすために心がけている具体的な行動について表現できる。 【学びに向かう力、人間性等】 ゴキを減らす方法について考え、理由を示して自分の考えを伝えよう。	・指導事項 skimming/scanning comprehension check topic talk ・教材 教科書Big Dipper 一人1台端末	○	○	○	○	【知識及び技能】 ゴキの再発見の新しい形を知り、情報を整理し、まとめることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 求められる情報を抽出して回答でき、またそれに対する自身の意見を表現できる。 【学びに向かう力、人間性等】 ゴキを減らす方法について積極的に発話したり、発問に対して発言しようとする。	○	○	○	13
	Lesson10 【知識及び技能】 日本企業の様々な取り組みについて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 女性活躍について理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 女性の就業状況について、理由を示して自分の考えを伝えよう。	・指導事項 skimming/scanning comprehension check topic talk ・教材 教科書Big Dipper 一人1台端末	○	○	○	○	【知識及び技能】 日本企業の様々な取り組みを知り、情報を整理し、まとめることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 求められる情報を抽出して回答でき、またそれに対する自身の意見を表現できる。 【学びに向かう力、人間性等】 女性の就業状況について積極的に発話したり、発問に対して発言しようとする。	○	○	○	13
	定期考査		○	○	○	○					1

使用教科書：（いいすな書店 Harmony! English）
他科：外国語

【学びに向かう力、人間性等】 多様な文化の在り方を理解して多様性を受け入れ、相手の伝えようとする姿勢に真摯に向き合い、対話・意見論述等に積極的に参加することができる。

【知識及び技能】

70

高等学校 令和7年度（1学年用） 教科 情報 科目 情報I

教科： 情報 科目： 情報I 単位数： 2 単位

対象学年組：第 1 学年 2 組～ 3 組

教科担当者：（2組： 谷地 ）（3組： 谷地 ）

使用教科書：（ 高等学校 情報I ）

教科 情報 の目標：

【知識及び技能】問題の発見・解決の方法を理解し、情報と情報技術を適切に活用するために必要な技能を身に付けることができる。

【思考力、判断力、表現力等】様々な事象を情報とその結びつきの視点から捉え、複数の情報を結び付けて新たな意味を見出す力を身に付けることができる。

【学びに向かう力、人間性等】情報や情報技術を適切かつ効果的に活用して、情報社会に主体的に参画することができる。

科目 情報I の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
社会生活の中で情報や情報技術が果たしている役割や及ぼしている影響を理解し、情報技術を活用して問題を発見し解決するための知識・技能を身につける	情報を活用して問題を解決するための思考力、必要な情報や解決の方法などを比較し選択するための判断力、相手や状況に応じて情報を伝えるための表現力を身につける。	情報を多面的・多角的に吟味し見定めていく力、情報モラルや情報に対する責任について考えようとする態度を身につける。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
1 学 期	情報社会について － 情報と情報社会 － 問題解決の考え方 － 法規による安全対策 － 個人情報とその扱い － 知的財産権・著作権	情報とは何か、その定義と特性を理解させる。ビッグデータや人工知能などの技術によりさまざまな困難を克服しようとしていることを理解する。 不正アクセスや個人情報、著作権など自身を取り巻く法規を理解し適切に取り扱えるようにする。	・情報とは何か理解できたか ・与えられた問題について、チームで問題解決の手法を使って解決することができたか。 ・小テスト、提出物	○	○	○	10
	情報デザインについて － コミュニケーションとメディア － 情報デザインの表現 － Webページと情報デザイン	メディアごとの特性を理解し適切な選択ができるようになる。 効果的なコミュニケーションや問題解決のために情報を整理し受けてにとってわかりやすいデザインの基本知識と技術を身につける。	・メディアの真偽を検証する方法について理解できたか。 ・人に伝わる情報デザインとはどのようなものか理解できたか。 ・人に伝わるメディアを作ることができたか。 ・他者のメディアを評価し、改善点を考えることができたか。 ・小テスト、提出物	○	○	○	16
2 学 期	デジタル － 数字と文字の表現 － 演算の仕組み － 音の表現	デジタルの特徴を知りその表現、演算方法を知る。 音・画像のデジタル処理を体験しデジタル化のいい点、悪い点を理解する。	・情報量の単位を理解して、計算問題を解くことができたか。 ・2進数どうしの足し算、掛け算について理解し、計算問題を解くことができたか。 ・計算によって基数変換をすることができるようになったか。 ・小テスト、提出物	○	○	○	8
	ネットワーク － プロトコル － インターネットの仕組み － データベースの仕組み	コンピュータネットワークの意義と仕組みを理解する。ネットワークに接続された情報機器が連携しながらさまざまな機能を提供する情報システムを理解する。	・ネットワークの仕組みを理解できたか ・小テスト、提出物	○	○	○	6
	プログラミング － アルゴリズム － プログラミング基礎 － 配列、関数 － プログラミング実習	問題を解決するために「何を」「どのような順番で」「何に対して行うか」というアルゴリズムを記述できるようにする。探索や整列の基礎的なプログラミングを通して論理的思考力を身につける。	・入出力、変数、データ変換などの基本操作を習得できたか。 ・簡単な計算をコンピュータが処理できる形にモデル化できたか。 ・基本操作を基に、簡単な計算を自動化する仕組みをつくることができたか。 ・小テスト、提出物	○	○	○	12
3 学 期	総合学習	今までの学習を生かし、デジタル作品を作り上げる。	・チームで共同し活動できている ・授業内容を超えた内容を自分で調べ活用できている。 ・他者に見せることを意識したデザインができている ・他者のメディアを評価し、改善点を考えることができたか。 ・小テスト、提出物	○	○	○	18
							合計
							70

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
農業の栽培分野について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。	農業の栽培分野に関する課題を発見し、農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を養う。	農業の栽培分野について基礎的な知識と技術を実際に活用できるように自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協動的に取り組む態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	意	配当 時数
・作物に興味関心を持つ。 ・作物の特性や管理、及び生育に影響を及ぼす環境要因について科学的に捉え、主体的に学ぶ意欲と態度を身につける。 ・作物栽培とそれらの生育環境を多面的・科学的に考察し、課題を整理し、解決に向けた具体的な取組を考え、発表により表現できる。 ・作物の特性や生育環境・管理に関する基礎的な知識を身につけるとともに、技術の仕組みを理解する。	「栽培の基礎」 ・たねと発芽・たねまき ・成長のしくみと管理 ・作物の養分と肥料 ・生活の中での作物 ・作物の自然分類 ・作物の生育を支える土	【知識及び技能】 作物の特性や生育環境・管理に関する基礎的なことを理解するとともに、関連する技術を身につけた。 【思考力、判断力、表現力等】 作物栽培とそれらの生育環境を多面的・科学的に考察し、想定される管理上の課題について整理し、解決に向け、創造的に解決できた。 【学びに向かう力、人間性等】 作物に興味・関心を示し、その特性や管理、および生育に影響を及ぼす環境要因について自ら学び、主体的かつ協働的に取組めた。	○	○	○	24
・作物の特性や生育環境・管理に関する実践的な知識を身につけさせ、管理の原理や方法を理解する。 ・自らの課題に基づき、適切な課題を設定し、実施に向けた計画を立案するために思考、判断、表現できる力を身につける。 ・栽培管理について科学的・合理的に判断し、生育段階や環境条件に応じた適切な処置をする能力を身につける。	「栽培と利用」 ・春花（春まき一年草） ・播種、鉢上げ、追肥 ・徒長、切り戻し、花摘 ・春花（宿根草） ・さし芽、鉢上げ ・作物（トウモロコシ） ・播種、追肥、土寄せ、収穫 ・作物（ダイズ） ・マルチング、播種、追肥、収穫	【知識及び技能】 作物の特性や育成と環境要素、生産計画と工程管理について基礎的な内容を理解するとともに、関連する技術を身につけた。 【思考力、判断力、表現力等】 作物の特性や育成と環境要素、生産計画と工程管理に関する課題を発見し、科学的根拠に基づいて創造的に解決できた。 【学びに向かう力、人間性等】 作物の特性や育成と環境要素、生育と環境要素、生産計画と工程管理について、自ら学び主体的かつ協働的に取組めた。	○	○	○	2
・作物に興味関心を持つ。 ・作物の特性や管理、及び生育に影響を及ぼす環境要因について科学的に捉え、主体的に学ぶ意欲と態度を身につける。 ・作物栽培とそれらの生育環境を多面的・科学的に考察し、課題を整理し、解決に向けた具体的な取組を考え、発表により表現できる。 ・作物の特性や生育環境・管理に関する基礎的な知識を身につけるとともに、技術の仕組みを理解する。	「栽培の基礎」 ・作物栽培と環境 ・作物の生育を支える土 ・作物の繁殖 ・作物体系と作型	【知識及び技能】 作物の特性や生育環境・管理に関する基礎的なことを理解するとともに、関連する技術を身につけた。 【思考力、判断力、表現力等】 作物の特性や生育環境を多面的・科学的に考察し、想定される管理上の課題について整理し、解決に向け、創造的に解決できた。 【学びに向かう力、人間性等】 作物に興味・関心を示し、その特性や管理、および生育に影響を及ぼす環境要因について自ら学び、主体的かつ協働的に取組めた。	○	○	○	24
・作物の特性や生育環境・管理に関する実践的な知識を身につけさせ、管理の原理や方法を理解する。 ・自らの課題に基づき、適切な課題を設定し、実施に向けた計画を立案するための思考・判断、表現できる力を身につける。 ・栽培管理について科学的・合理的に判断し、生育段階や環境条件に応じた適切な処置をする能力を身につける。	「栽培と利用」 ・春花（秋まき一年草） ・播種、鉢上げ、追肥、切り戻し、花摘 ・春花（宿根草） ・挿心、お刈り処理 ・春花（球根植物） ・鉢上げ付 ・作物（ハクサイ） ・播種、育苗、害虫防除	【知識及び技能】 作物の特性や育成と環境要素、生産計画と工程管理について基礎的な内容を理解するとともに、関連する技術を身につけた。 【思考力、判断力、表現力等】 作物の特性や育成と環境要素、生産計画と工程管理に関する課題を発見し、科学的根拠に基づいて創造的に解決できた。 【学びに向かう力、人間性等】 作物の特性や育成と環境要素、生育と環境要素、生産計画と工程管理について、自ら学び主体的かつ協働的に取組めた。	○	○	○	2
・食と農家の関わりと動向、課題に関心を持たせ、主体的に学び取るようとする意欲と態度を身につけさせる。 ・地域環境と農業、生活に関する課題の解決を目指す意欲と姿勢を、基礎的な知識と技術をもち合理的に判断し、その過程や結果を適切に表現する力を身につけさせる。 ・地域環境と農業、生活に関する資料や情報を収集し、適切に選択し活用する力を身につけさせる。 ・食と農家の動向と課題に関する基礎的な知識を身につけさせる。農業の社会的な役割、環境、暮らしとの関係を理解させる。	・地域の農業と環境について	【知識及び技能】 私たちの暮らしと食と農業・農村に関する課題とともに、関連する技術を身につけた。 【思考力、判断力、表現力等】 私たちの暮らしと食と農業・農村に関する課題を発見し、科学的な根拠などに基づいて創造的に解決する。 【学びに向かう力、人間性等】 私たちの暮らしと食と農業・農村について自ら学び、主体的かつ協働的に取組めた。	○	○	○	2
・作物に興味関心を持つ。 ・作物の特性や管理、及び生育に影響を及ぼす環境要因について科学的に捉え、主体的に学ぶ意欲と態度を身につける。 ・作物栽培とそれらの生育環境を多面的・科学的に考察し、課題を整理し、解決に向けた具体的な取組を考え、発表により表現できる。 ・作物の特性や生育環境・管理に関する基礎的な知識を身につけるとともに、技術の仕組みを理解する。	「栽培の基礎」 ・作物の育種	【知識及び技能】 作物の特性や生育環境・管理に関する基礎的なことを理解するとともに、関連する技術を身につけた。 【思考力、判断力、表現力等】 作物栽培とそれらの生育環境を多面的・科学的に考察し、想定される管理上の課題について整理し、解決に向け、創造的に解決できた。 【学びに向かう力、人間性等】 作物に興味・関心を示し、その特性や管理、および生育に影響を及ぼす環境要因について自ら学び、主体的かつ協働的に取組めた。	○	○	○	17
・作物の特性や生育環境・管理に関する実践的な知識を身につけさせ、管理の原理や方法を理解する。 ・自らの課題に基づき、適切な課題を設定し、実施に向けた計画を立案するために思考、判断、表現できる力を身につける。 ・栽培管理について科学的・合理的に判断し、生育段階や環境条件に応じた適切な処置をする能力を身につける。	・作物（ジャガイモ） ・植え付け準備、植え付け ・花壇用草花の栽培と利用 ・交流授業	【知識及び技能】 作物の特性や育成と環境要素、生産計画と工程管理について基礎的な内容を理解するとともに、関連する技術を身につけた。 【思考力、判断力、表現力等】 作物の特性や育成と環境要素、生産計画と工程管理に関する課題を発見し、科学的根拠に基づいて創造的に解決できた。 【学びに向かう力、人間性等】 作物の特性や育成と環境要素、生育と環境要素、生産計画と工程管理について、自ら学び主体的かつ協働的に取組めた。	○	○	○	1
・作物に興味関心を持つ。 ・作物の特性や管理、及び生育に影響を及ぼす環境要因について科学的に捉え、主体的に学ぶ意欲と態度を身につける。 ・作物栽培とそれらの生育環境を多面的・科学的に考察し、課題を整理し、解決に向けた具体的な取組を考え、発表により表現できる。 ・作物の特性や生育環境・管理に関する基礎的な知識を身につけるとともに、技術の仕組みを理解する。			○	○		合計
						70

高等学校 令和7年度（1 学年用）教科		農業	科目	農業と環境（地域）
教 科： 農業	科 目： 農業と環境（地域）	単位数：	単位	
対象学年組：第 1 学年 1 組				
教科担当者：（佐藤）				
使用教科書：（実教出版「農業と環境」）				
教科 農業	の目標：			

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
農業の地域資源分野について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。	農業の地域資源分野に関する課題を発見し、農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を養う。	農業の地域資源分野について基礎的な知識と技術を実際に活用できるよう自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協動的に取り組む態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	・人間と植物・動物のかかわりについて理解するとともに、関連する技術を身に付けさせる。	「人間と植物・動物とのかかわり」 ・植物の生理生態、栽培管理の基礎 ・植物を種から育てる経験をし、栽培の一連の流れを身に付ける ・椿園の管理作業	【知識・技能】 人間と植物・動物とのかかわりについて十分に理解して活用し、新たな知識と技術の習得を目指して取り組もうとしている。	○	○	○	24
	【思考・判断・表現】 十分に地域資源に関する課題に興味をもち積極的に解決しようとしている。						
	・人間と植物・動物のかかわりに関する課題を発見し、科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を身に付けさせる。		【主体的に学習に取り組む態度】 主体的・協働的に学習活動に取り組む自分の意見を持つようとしている。	○	○	○	
定期考査				○	○		2
2 学 期	・農業と農村について理解するとともに、関連する技術を身に付けさせる。	「農業・農村の役割」 ・世界と日本の農業について ・農業における環境への影響について ・椿油製造と工場見学	【知識・技能】 農業・農村の役割について十分に理解して活用し、新たな知識と技術の習得を目指して取り組もうとしている。	○	○	○	24
	【思考・判断・表現】 農業・農村の役割に関する課題に興味をもち積極的に解決しようとしている。						
	・農業と農村に関する課題を発見し、科学的な根拠などに基づいて創造的に解決する力を身に付けさせる。		【主体的に学習に取り組む態度】 主体的・協働的に学習活動に取り組む自分の意見を持つようとしている。	○	○	○	
定期考査				○	○		2
3 学 期	・自然環境とその調査、改善方法について基礎的な内容を理解するとともに、関連する技術を身に付けさせる。	「地域資源の調査」 ・椿ガイドの実践 「農業と環境のプロジェクトの実践」 ・地域の素材を活かした活動		○	○	○	17
	・自然環境とその調査、改善方法に関する課題を発見し、科学的根拠に基づいて創造的に解決する力を身に付けさせる。			○	○		
定期考査				○	○		1
							合計
							70

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	・農業や環境は人間生活の影響を受け、相互に影響しあう関係にあることを理解させる。 ・農業の学び方の核となるプロジェクト学習法について関心をもち、実践と検証への意欲と態度を身に付けさせる。 ・家畜の特性や管理、畜産物の加工について主体的に学ぶ態度と意欲を身に付けさせる。	第1章 農業と環境を学ぶ 1 農業学習とは何か 2 農業と環境の学び方 第3章 栽培と飼育の基礎 3 家畜の特性と飼育 ・農業学習とは何か（座学） ・農業と環境の学び方（座学） ・鶏卵加工実習（実習） ・家畜とは何か（座学） ・家畜の管理実習（実習） ・農業クラブ活動とプロジェクト学習（座学） ・羊の生態と毛刈り（実習） ・家畜の健康管理と衛生（座学、実習）	【知識・技能】 農業と環境における畜産分野の学び方について理解するとともに関連する技術等を身に付けようとしている。 【思考・判断・表現】 農業と環境における畜産分野に関する課題に興味・関心を持ち解決しようとする姿勢をもって取り組んでいる。 【主体的に学習に取り組む態度】 自らが主体的・協働的に学習に取り組み、科学的根拠に基づいた自分の意見を持つようとしている。	○	○	○	24
	定期考査			○	○		2
2 学 期	・農業の学び方の核となるプロジェクト学習法について関心をもち、実践と検証への意欲と態度を身に付けさせる。 ・家畜の特性や管理、畜産物の加工について主体的に学ぶ態度と意欲を身に付けさせる。 ・地域の畜産とその特徴を理解するとともに、課題研究等につながる課題意識を醸成させる。	第3章 栽培と飼育の基礎 3 家畜の特性と飼育 第4章 栽培と飼育と環境の往路 ジェクト ・家畜の飼育管理（実習） ・生産品販売実習（実習） ・鶏の解体と加工処理（実習） ・地域の畜産とその特徴（座学）	【知識・技能】 農業と環境における畜産分野の学び方について理解するとともに関連する技術等を身に付けようとしている。 【思考・判断・表現】 農業と環境における畜産分野に関する課題に興味・関心を持ち解決しようとする姿勢をもって取り組んでいる。 【主体的に学習に取り組む態度】 自らが主体的・協働的に学習に取り組み、科学的根拠に基づいた自分の意見を持つようとしている。	○	○	○	24
	定期考査			○	○		2
3 学 期	・農業の学び方の核となるプロジェクト学習法について関心をもち、実践と検証への意欲と態度を身に付けさせる。 ・家畜の特性や管理、畜産物の加工について主体的に学ぶ態度と意欲を身に付けさせる。 ・地域の畜産とその特徴を理解するとともに、課題研究等につながる課題意識を醸成させる。	第3章 栽培と飼育の基礎 3 家畜の特性と飼育 第4章 栽培と飼育と環境の往路 ジェクト ・家畜の種類と特徴（座学） ・飼養環境の改善と整備（座学・実習） ・家畜の排せつ物と環境（座学） ・鶏の消化器官と生殖（座学） ・鶏のワクチン接種と衛生（座学・実習）	【知識・技能】 農業と環境における畜産分野の学び方について理解するとともに関連する技術等を身に付けようとしている。 【思考・判断・表現】 農業と環境における畜産分野に関する課題に興味・関心を持ち解決しようとする姿勢をもって取り組んでいる。 【主体的に学習に取り組む態度】 自らが主体的・協働的に学習に取り組み、科学的根拠に基づいた自分の意見を持つようとしている。	○	○	○	16
	定期考査・まとめ			○	○		2
							合計
						70	

高等学校 令和7年度（1学年用） 教科		農業		科目 総合実習	
教科 農業	科目 総合実習	単位数: 2	単位 (農科科生は時間外1単位もあり)		
対象学年組: 第 1 学年 1 組					
教科担当者: 木村	佐藤	梅田			
使用教科書: (なし)					
教科 農業	の目標:				

【知 識 及 び 技 能】農業の各分野について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】農業に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】職業人と必要ならぬ人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

科目 総合実習	の目標:		
	【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
農業の各分野について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。	農業の各分野に関する課題を発見し、農業と農業関連を繋ぐ携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を養う。	農業の各分野について基礎的な知識と技術を突進的に習得し、農業と農業関連を繋ぐ携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を養う。	農業の各分野について基礎的な知識と技術を突進的に習得し、農業と農業関連を繋ぐ携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を養う。金沢県に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

単元の具体的な指導目標		指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
オリエンテーション		農場案内、安全管理等説明	評価の観点	○	○	○	1
1 学期	A 野菜分野 【知識及び技能】 野菜栽培の基礎的な知識と技術を習得させる。 【思考力、判断力、表現力等】 野菜生産の現状と課題を認識させる。 【学びに向かう力、人間性等】 地域農業の現状と課題に興味を抱かせる。	野菜の種類 野菜の生育と栽培管理 施肥、マルチング 病害虫・トラクターの操作 野菜の収穫	【知識・技能】 十分に農業の専門的な知識と器具・機器の使用方法などの技術を十分に理解して活用し、新たな知識と技術の習得を目指して学習に取り組んでいる。	○	○	○	8
	B 草花分野 【知識及び技能】 草花栽培の基礎的な知識と技術を習得させる。 【思考力、判断力、表現力等】 花き生産の現状と課題を認識させる。 【学びに向かう力、人間性等】 地域農業の現状と課題に興味を抱かせる。	草花栽培の基礎 春まき1年草の栽培 草花の利用	【思考・判断・表現】 十分に農業に関する課題に興味をもち、積極的に解決しようとしている。	○	○	○	8
	C 畜産分野 【知識及び技能】 家畜飼育の基礎的な知識と技術を習得させる。 【思考力、判断力、表現力等】 畜産業の現状と課題を認識させる。 【学びに向かう力、人間性等】 地域農業の現状と課題に興味を抱かせる。	家畜への接し方と管理の方法 飼育施設器具の名称と使用方法 家畜の種類と飼の品種	【主体的に学習に取り組む態度】 中心となって主体的・協働的に学習に取り組み、科学的根拠に基づく自分の意見を持つようとしている。	○	○	○	7
	定期考査 (筆記および実物認定)			○	○		2
	A 野菜分野 【知識及び技能】 野菜栽培の基礎的な知識と技術を習得させる。 【思考力、判断力、表現力等】 野菜生産の現状と課題を認識させる。 【学びに向かう力、人間性等】 地域農業の現状と課題に興味を抱かせる。	野菜の生育と栽培管理について トマト、キュウリの手入れと収穫		○	○	○	8
2 学期	B 草花分野 【知識及び技能】 草花栽培の基礎的な知識と技術を習得させる。 【思考力、判断力、表現力等】 花き生産の現状と課題を認識させる。 【学びに向かう力、人間性等】 地域農業の現状と課題に興味を抱かせる。	秋まき1年草の栽培 草花の利用 学校祭に向けての準備 乗用トラクターの操作方法		○	○	○	8
	C 畜産分野 【知識及び技能】 家畜飼育の基礎的な知識と技術を習得させる。 【思考力、判断力、表現力等】 畜産業の現状と課題を認識させる。 【学びに向かう力、人間性等】 地域農業の現状と課題に興味を抱かせる。	家畜の飼育管理実習 肉の解体と加工 ペーコンの製造実習 学校祭生産品販売		○	○	○	8
	定期考査 (筆記および実物認定)			○	○		2
	A 野菜分野 【知識及び技能】 野菜栽培の基礎的な知識と技術を習得させる。 【思考力、判断力、表現力等】 野菜生産の現状と課題を認識させる。 【学びに向かう力、人間性等】 地域農業の現状と課題に興味を抱かせる。	培養土づくり 野菜、年間まとめ	評価の観点	○	○	○	5
	B 草花分野 【知識及び技能】 草花栽培の基礎的な知識と技術を習得させる。 【思考力、判断力、表現力等】 花き生産の現状と課題を認識させる。 【学びに向かう力、人間性等】 地域農業の現状と課題に興味を抱かせる。	草花の装飾 草花栽培のまとめ	【知識・技能】 十分に農業の専門的な知識と器具・機器の使用方法などの技術を十分に理解して活用し、新たな知識と技術の習得を目指して学習に取り組んでいる。	○	○	○	5
3 学期	C 畜産分野 【知識及び技能】 家畜飼育の基礎的な知識と技術を習得させる。 【思考力、判断力、表現力等】 畜産業の現状と課題を認識させる。 【学びに向かう力、人間性等】 地域農業の現状と課題に興味を抱かせる。	畜産加工品の製造実習 家畜の飼育管理実習 放牧場の維持管理実習 畜産管理のまとめ	【思考・判断・表現】 十分に農業に関する課題に興味をもち、積極的に解決しようとしている。	○	○	○	6
	定期考査 (筆記および実物認定)			○	○		2
							合計
							70

高等学校 令和7年度（1学年用） 教科 家庭 科目 ファッション造形基礎

教 科： 家庭 科 目： ファッション造形基礎 単位数： 2 単位

対象学年組： 第 1 学年 1 組～ 組

教科担当者： （1組：金澤）

使用教科書： （ ファッション造形基礎／実教出版 ）

教科 家庭 の目標：

- 【知 識 及 び 技 能】生活産業の各分野について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】生活産業に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、生活の質の向上と社会の発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

科目 ファッション造形基礎 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
被服の構成、被服材料の種類や特徴、被服製作などについて体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。	被服製作やデザインに関する課題を発見し、ファッションの造形を担う職業人として合理的かつ創造的に解決する力を養う。	衣生活の充実向上を目指して自ら学び、ファッションの造形に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	・縫製に関する基礎的な事項を理解し、技術を習得する。 ・被服材料の種類や特徴に関して理解し、製作する被服の用途に適した被服材料を選択できる。 ・意欲的に裁縫技術習得に取り組んでいる。	・被服製作の基礎 ・裁縫道具やミシンの名称 ・被服の素材	【知識・技能】 被服の素材、縫製に関する道具の名称・用途を理解している。 【思考・判断・表現】 素材を理解し基礎的な縫製技術を用い、個人の創意・工夫を表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 素材の特性・縫製に関心をもち、自ら学ぶ態度を示している。	○	○	○	6
	・ミシンの基礎的知識・技術を習得する。 ・基礎的な縫製技術を用い、個人の創意・工夫を表現することができる。 ・ミシンでの衣服製作に意欲的に取り組んでいる。	・平面構成の衣服製作 (エプロン・三角巾の製作)	【知識・技能】 ミシンの基礎的な事項を理解し技術を習得している。 【思考・判断・表現】 道具を適切に活用し、被服を構成できる。思考・判断の過程を文章で表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 衣服製作に意欲的に取り組んでいる。	○	○	○	18
	定期考査	・筆記試験 ・実技試験		○	○		2
2 学 期	・下半身を覆う衣服の構成と動作への適応について理解する。立体構成衣服の製作技術を習得する。 ・基礎的な縫製技術を用い、個人の創意・工夫を表現することができる。	・洋服の製作 (ハーフパンツの製作)	【知識・技能】 衣服の構成と動作への適応について理解する。立体構成衣服の製作技術を習得する。 【思考・判断・表現】 道具を適切に活用し、被服を構成できる。思考・判断の過程を文章で表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 衣服製作に意欲的に取り組んでいる。	○	○	○	18
	・手縫いやミシンの基礎的な技術を向上させる。 ・製作物の構成を理解し、指示通りの製作を行うことができる。	・被服製作技術検定4級	【知識・技能】 手縫いやミシン縫いの基礎的な技術が検定基準以上である。 【思考・判断・表現】 道具を適切に活用し、被服を構成できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 検定合格に向けて意欲的に取り組んでいる。	○		○	6
	定期考査	・実技試験		○	○		2
3 学 期	・下半身を覆う衣服の構成と動作への適応について理解する。立体構成衣服の製作技術を習得する。 ・基礎的な縫製技術を用い、個人の創意・工夫を表現することができる。	・洋服の製作 (ハーフパンツの製作)	【知識・技能】 衣服の構成と動作への適応について理解する。立体構成衣服の製作技術を習得する。 【思考・判断・表現】 道具を適切に活用し、被服を構成できる。思考・判断の過程を文章で表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 衣服製作に意欲的に取り組んでいる。	○	○	○	17
	定期考査	・筆記試験		○	○		1
						合計	70

年間授業計画 様式例

高等学校 令和7年度（1学年用） 教科 家庭 科目 生活産業情報

教科 家庭 科目 生活産業情報 単位数 単位

対象学年級 第1学年 組 組

教科組担当 (1組) 吹越

使用教科書 ()

教科 家庭 科目 生活産業情報

【知識及び技能】 人間の生活にわたる発達と生活の営みを総合的に捉え、家族・家庭の発展、家族・家庭と社会との関わりについて理解を深め、家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて、生活を主体的に営むために必要な理解を深めるとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 家族や地域及び社会における生活の中から課題を捉えたいという課題を設定し、解決策を模索し、実践を伴う力をつける。

【学びに向かう力、人間性等】 様々な人と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家族、地域の生活を主体的に創造しようとする実践的な態度を養う。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生活産業における情報の意義や役割を理解し、情報の知識に関する知識と技術を習得する。	情報社会における生活、産業の変化に課題を捉え、思考を深める。また、考えをまとめて判断ができる。	生活産業の各分野で情報及び情報手段を主体的に活用する能力と態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価基準	知	思	意	配当 時間
・生活産業情報」を学ぶにあたり、学習の意義や内容、学習方法や評価の方法、自分の学習目標の活用における注意事項などを理解する。	生活産業情報を学ぶにあたってのオリエンテーション	「生活産業情報」に関心を持ち、学びとうする意欲を感じられる。			○	1
・情報化が進展したことによる私たちの生活や産業における変化と、その問題点について理解したうえで、その解決に向けて考察する。	第1章 情報化の進展と社会 1節 情報化の進展と社会	・情報化の進展における現状、特長・課題・課題点について理解していることを理解することができる。 ・情報化の進展に伴う課題について理解し、自ら調べることができる。	○		○	1
・衣食住、教育、産業看護及び介護などのヒューマンサービスにのみならず生活産業の各分野で、情報技術がどのように利用されているかを、具体的に理解する。	第1章 情報化の進展と社会 2節 生活産業における情報化の進展	・生活産業の各分野で、情報技術が様々な形で利用されていることを理解することができる。 ・生活産業において利用されている事例を調べ発表することができる。	○	○	○	2
・ネットワーク社会のモラルとマナーについて、具体的な事例を踏まえて理解する。	第2章 情報モラルとセキュリティ 1節 情報モラルとマナー	・SNSなどの利用において、どのようなことに注意しているのかグループで話し合い、発表する。 ・個人情報保護がなぜ重要であるのかについて、理解することができる。	○	○	○	2
・ネットワークも社会の一部であり、サイバー犯罪が存在することや事例をもとに理解する。	第2章 情報モラルとセキュリティ 2節 情報通信ネットワークのしくみとセキュリティ管理	・今日の社会では、情報通信ネットワークは欠かせない技術であり、さらに広範囲な活用が見込まれていることを理解する。 ・サイバー犯罪に巻き込まれる危険性や、被害やリスクを減らすための対策や注意点を理解し、発表する。	○	○	○	2
・情報機器の基本構成（ハードウェア）と、それぞれの機能と動作を理解する。	第3章 コンピュータとプログラミング 1節 コンピュータの基本構成	・ハードウェアからコンピュータは構成され、それぞれの役割があることを理解する。 ・身近なコンピュータを構造的に調べ、どのような構成からなるのかをまとめることができる。	○	○	○	2
・モデル化とシミュレーションの概要を理解し、具体的な活用について学ぶ。	第3章 コンピュータとプログラミング 2節 モデル化とシミュレーション	・モデル化とシミュレーションの必要性について理解していることを理解する。 ・表計算ソフトを利用して、実際にさまざまな数値を入力することで結果が変動することを確かめようとする。	○	○	○	2
・プログラミングに関する基礎的な知識を学び、簡単なアルゴリズムで表現した処理手順を実行することで、自動的に処理ができることを理解する。	第3章 コンピュータとプログラミング 3節 アルゴリズムとフローチャート	・アルゴリズムの3つの基本構成を理解し、それぞれの役割を説明することができる。	○	○		2
・様々なメディアの特性とコミュニケーション手段の特性を理解する。	第4章 生活産業におけるコミュニケーションと情報デザイン 1節 メディアの特性	・伝達、記憶、表現するためのメディアがあることを理解する。	○			2
・生活産業の中で消費者と企業がどのようにコミュニケーションに利用しているかを理解する。	第4章 生活産業におけるコミュニケーションと情報デザイン 2節 コミュニケーション	・コミュニケーションは生活の上で必要不可欠であることを理解する。 ・ユーザーサポートについて、身近な例を挙げて説明することができる。	○	○		2
・すべての人に必要な情報を伝えるための工夫が求められるとともに、課題もあることを理解する。	第4章 生活産業におけるコミュニケーションと情報デザイン 3節 情報デザインの課題	・文字（言葉）による伝達では限界があり、図でも伝わるための工夫が必要であることを理解する。 ・取り扱う情報をもちに、なぜ変更されたのかを考察する。	○	○		2
・文書作成ソフトの概要を理解し、操作方法を習得する。 ・文字入力を確実に行う。	第5章 各種アプリケーションの基本操作 1節 各種アプリケーションの基本操作	・文書作成ソフトの機能を理解し、操作することができる。 ・問題に応じて課題を作成するよう自ら取り組んでいる。	○		○	5
定期考査			○	○		1
・表計算ソフトの概要を理解し、操作方法を習得する。 ・適切な関数を選択し、活用できるようにする。	第5章 各種アプリケーションの基本操作 2節 表計算ソフトの利用	・表計算ソフトの機能を理解し、操作することができる。 ・問題に応じて課題を作成するよう自ら取り組んでいる。	○		○	6
・表計算マクロ言語の概要について理解する。	第5章 各種アプリケーションの基本操作 3節 プログラミングソフトの利用	・表計算マクロ言語の概要について理解する。 ・問題に応じて課題を作成するよう自ら取り組んでいる。	○		○	4
・プレゼンテーションソフトの概要を理解し、操作方法を習得する。 ・実際のプレゼンテーションにおける注意点を理解する。	第5章 各種アプリケーションの基本操作 4節 プレゼンテーションソフトの利用	・プレゼンテーションソフトの機能を理解し、操作することができる。 ・問題に応じて課題を作成するよう自ら取り組んでいる。 ・発表を行う際の注意点について具体的に考察している。	○	○	○	4
・画像処理ソフトの概要を理解し、操作方法を習得する。	第5章 各種アプリケーションの基本操作 5節 画像処理ソフトの利用	・画像処理ソフトの機能を理解し、操作することができる。 ・問題に応じて課題を作成するよう自ら取り組んでいる。	○		○	4
・動画編集ソフトの概要を理解し、操作方法を習得する。	第5章 各種アプリケーションの基本操作 6節 動画編集ソフトの利用	・動画編集ソフトの機能を理解し、操作することができる。 ・問題に応じて課題を作成するよう自ら取り組んでいる。	○		○	4
・Webページ作成ソフトの概要を理解し、操作方法を習得する。 ・Webページの構成を理解する。	第5章 各種アプリケーションの基本操作 7節 Webページ作成ソフトの利用	・Webページの構造（トップページ、サブページ）を理解している。	○		○	3
定期考査			○	○		1
・テーマは3時間とし、2テーマ程度で応用実習をする。 ・それぞれの分野、対象、目的を明確にした情報収集・整理・分析の作成を行う。 ・関連した情報を収集・整理・分析し、表現することによって、よりよい情報を効果的に発信する方法について理解し、それを実践できる技能を身につける。 ・各種アプリケーションを必要に応じて使い分け、効果的に活用することができる。	第6章 生活産業に関連した情報の活用 1節 生活産業分野での利用 2節 生活産業分野での利用 3節 生活産業分野での利用 4節 ユーザーサポート分野での利用 5節 消費者生活関連分野での利用	・関心のある分野について、伝えたい内容を整理し、テーマを設定する。 ・テーマに応じて、必要な情報を収集することができる。 ・収集した情報を整理し、どのように表現すべきかを考察する。	○	○	○	18
合計						70

年間授業計画 様式例

高等学校 令和7年度（1学年用） 教科 家庭 科目 フードデザイン

教科 家庭 科目 フードデザイン

単位数: 2 単位

対象学年組: 第 1 学年 1 組 ～ 組

教科担当: (1 組: 秋越 (組:) (組:) (組:) (組:) (組:))

使用教科書: ()

教科 家庭

の目標:

【知識及び技能】人間の生活にわたる発達と生活の営みを総合的に捉え、家族・家庭の意義、家族・家庭と社会との関わりについて理解を深め、家族・家庭、食生活、消費や調理などについて、生活を主体的に営むために必要な理解を固めるとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して生活の課題を解決する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活を主体的に創造しようとする実践的な態度を養う。

科目 フードデザイン

の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
栄養、食品、献立、調理、テーブルコーディネートなどについて体系的・系統的に理解し、関連する技術を身につける。	食生活全般に関する課題を発見することができ、栄養、食品、調理等を体系的にとらえた上で、充実した食生活を総合的にデザインし、表現できる。	栄養、食品、献立、調理、テーブルコーディネートなどについて関心をもち、主体的・協働的・積極的に取り組む態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	食事の意義と役割、食を取り巻く現状について、日常生活と関連づけて理解する。	・健康と食生活	【知識・技能】食事の意義と役割、食を取り巻く現状について、各種データを読み取り理解している。 【思考・判断・表現】各種データを分析思考し、その内容を表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】食を取り巻く現状に関心を深め、問題意識を持っている。	○	○	○	2
	各栄養素の種類と栄養的な意義について理解する。 さまざまな食品について、特徴とその調理性、加工について理解した上で、調理に活かせる。	・栄養素・食品の特徴	【知識・技能】五大栄養素の働きと、各食品に含まれる栄養素を理解している。食品の特徴と調理性を理解している。 【思考・判断・表現】食品の調理性を実際の調理における現象と合わせて思考し、レポートに正しく表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】食品の調理性の理解と活用に着眼的に取り組んでいる。	○	○	○	4
	調理及び調理器具の目的や活用法、調理の方法を理解し、実際の調理に活かせる。	・調理操作	【知識・技能】調理の基本知識・技能を身につけている。 【思考・判断・表現】調理器具の活用や調理について、その場その場で理論に基づいて思考し、適切に判断し活用しようとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】調理技術の向上に着眼的である。	○	○	○	6
	・食品の調理性をふまえた、適切な調理ができるようになる。 ・食品衛生と安全に十分配慮し、食品を適切に扱うことができるようになる。 ・各料理に合わせた盛りつけや、目的に合った食卓を整えることができる。	・調理実習	【知識・技能】食品の調理性をふまえた適切な調理技術を身につけている。各料理に合わせた盛りつけができる。 【思考・判断・表現】食品の調理性や食品衛生を考えながら適宜判断し、調理しようとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】調理実習に着眼的に取り組んでいる。	○	○	○	12
	定期考査	筆記試験 実技試験		○	○		2
2 学 期	さまざまな食品について、特徴とその調理性、加工について理解した上で、調理に活かせる。	・食品の特徴	【知識・技能】食品の特徴と調理性を理解している。 【思考・判断・表現】食品の調理性を実際の調理における現象と合わせて思考し、レポートに正しく表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】食品の調理性の理解と活用に着眼的に取り組んでいる。	○	○	○	4
	調理器具の目的や活用法、調理の方法を理解し、実際の調理に活かせる。	・調理操作	【知識・技能】調理の基本知識・技能を身につけている。 【思考・判断・表現】調理器具の活用や調理について、その場その場で理論に基づいて思考し、適切に判断し活用しようとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】調理技術の向上に着眼的である。	○	○	○	4
	調理器具の目的や活用法、調理の方法を理解し、実際の調理に活かせる。	・調理実習	【知識・技能】調理の基本知識・技能を身につけている。 【思考・判断・表現】調理器具の活用や調理について、その場その場で理論に基づいて思考し、適切に判断し活用しようとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】調理技術の向上に着眼的である。	○	○	○	16
	定期考査	筆記試験 実技試験		○	○		2
3 学 期	さまざまな食品について、特徴とその調理性、加工について理解した上で、調理に活かせる。	・食品の特徴	【知識・技能】調理の基本知識・技能を身につけている。 【思考・判断・表現】調理器具の活用や調理について、その場その場で理論に基づいて思考し、適切に判断し活用しようとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】調理技術の向上に着眼的である。	○	○	○	4
	献立を作成するための留意点を理解し、望ましい献立作成ができる能力を身につける。	・献立作成	【知識・技能】栄養バランスや味の調和がとれた弁当献立を立て、調理ができる。 【思考・判断・表現】年齢、性別に合わせて、栄養バランスを考慮した弁当献立を考えている。 【主体的に学習に取り組む態度】弁当献立作成に着眼的である。	○	○	○	4
	調理器具の目的や活用法、調理の方法を理解し、実際の調理に活かせる。	・調理実習	【知識・技能】調理の基本知識・技能を身につけている。 【思考・判断・表現】調理器具の活用や調理について、その場その場で理論に基づいて思考し、適切に判断し活用しようとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】調理技術の向上に着眼的である。	○	○	○	8
	定期考査	筆記試験 実技試験		○	○		2
						合計	70

高等学校 令和7年度（1学年用） 教科 総合的な探究の時間 科目 総合的な探究の時間

教科： 総合的な探究の時間 科目： 総合的な探究の時間 単位数： 1 単位

対象学年組： 第 1 学年 1 組～ 3 組

教科担当者： 全教員

使用教科書： （ なし ）

教科 総合的な探究の時間 の目標：

【知識及び技能】 地域や社会の人、もの、ことに関わる探究の過程において、課題の解決に必要な知識及び技能を身に付けるとともに、地域や社会の特徴やよさに気づき、それらが人々の関わりや協働によって支えられていることに気付く。

【思考力、判断力、表現力等】 地域や社会の人、もの、ことと自分自身との関わりから問いを見だし、その解決に向けて仮説を立てたり、調査して得た情報を基に分析したりする力を身に付けるとともに、論理的にまとめ・表現する力を身に付ける。

【学びに向かう力、人間性等】 地域や社会の人、もの、ことについての探究活動に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、持続可能な社会を実現するために行動し、社会に貢献しようとする態度を育てる。

科目 総合的な探究の時間 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
地域や社会の人、もの、ことに関わる探究の過程において、課題の解決に必要な知識及び技能を身に付けるとともに、地域や社会の特徴やよさに気づき、それらが人々の関わりや協働によって支えられていることに気付く。	地域や社会の人、もの、ことと自分自身との関わりから問いを見だし、その解決に向けて仮説を立てたり、調査して得た情報を基に分析したりする力を身に付けるとともに、論理的にまとめ・表現する力を身に付ける。	地域や社会の人、もの、ことについての探究活動に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、持続可能な社会を実現するために行動し、社会に貢献しようとする態度を育てる。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
通 年 （ 週 時 程 外）	自己発見のための講座 【知識及び技能】 課題の解決に必要な知識及び技能を身に付けるとともに、自分自身が様々な人々の関わりに支えられていることに気付かせる。 【思考力、判断力、表現力等】 地域社会と自分自身の関わりから問いを見だし、解決に向けて仮説を立て、調査分析し、論理的にまとめ・表現する力を身に付けさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 探究活動に主体的・協働的に取り組み、社会に貢献しようとする態度を身に付けさせる。	自己発見のための講座 ①国際理解講演会（教務） ②国際理解後援会（生活） ③国際理解講演会（進路）	数値評価ではなく文章記述による評価 【知識・技能】 地域や社会の人、もの、ことに関わる探究の過程において、課題の解決に必要な知識及び技能を身に付けるとともに、地域や社会の特徴やよさに気づき、それらが人々の関わりや協働によって支えられていることに気付くことができたか。 【思考・判断・表現】 地域や社会の人、もの、ことと自分自身との関わりから問いを見だし、その解決に向けて仮説を立てたり、調査して得た情報を基に分析したりする力を身に付けるとともに、論理的にまとめ・表現する力を身に付けることができたか。 【主体的に学習に取り組む態度】 地域や社会の人、もの、ことについての探究活動に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、持続可能な社会を実現するために行動し、社会に貢献しようとする態度を身につけることができたか。	○	○	○	20
	郷土芸能祭 【知識及び技能】 郷土芸能に関する課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身に付け、地域や社会の特徴やよさに気づき、探究の意義や価値に気付かせる。 【思考力、判断力、表現力等】 郷土芸能と自己との関わりから問いを見だし、仮説を立て、調査分析し、論理的にまとめ・表現する力を身に付けさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 探究活動に主体的・協働的に取り組むとともに互いのよさを生かしながら、新たな価値を創造し、社会に貢献しようとする態度を身に付けさせる。	郷土芸能祭 ①ガイダンス ②地区別ガイダンス ③各地区リハーサル ④郷土芸能祭 ⑤郷土研究振り返り ⑥報告書作成		○	○	○	15
							合計
							35